

# ゆかりんの県政報告 vol.15 2011年1月15日発行



年頭のごあいさつ  
平成二十三年の新春を  
春ぎ 謹んでお慶びを申し上げます

昨年、御柱祭はじめご多忙の中、皆様には厚いご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。お蔭様にて、健康で一年間、地域課題の解決や、県議会の職務を遂行することができ、また後援会の各種行事も盛会に開催していただくことができました。本年はいよいよ四年の任期を終え、四月に改選期を迎えます。今まで皆様と頂いてまいりました厚い教えやご指導を胸に、再度県議会議員として諏訪市を中心に、諏訪地域、長野県の発展の為に役立てますよう再挑戦の決意を致し、十二月十四日の後援会本部役員・総支部長会議にてご承認を頂いたところであります。課題は多々あります。どうぞ引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。さて、本年も昨年に引き続き予算を許さない状況の中のスタートとなりました。一月二十日には今年も臨時議会が招集され第四次補正予算の審議が予定されており、ここからは昨年の十一月議会のご報告を中心に県政報告をお届けいたします。ご高覧頂き、皆様のご意見、ご要望などお寄せ頂ければ幸いに存じます。

今年はいよいよ四年前より座右の銘に「おおきな耳」を加えました。うさぎのよう大きな大きな耳で、皆様の様々な声をしっかりと聞き取り、県政に反映してまいりたいと思います。

本年が皆様にとりまして大いに飛躍の年となりますように、併せてご家族ご一緒のご多幸をお祈り申し上げます。

長野県議会創志会諏訪支部  
長野県議会議員  
金子ゆかり

(公選選挙法により年賀状は欠礼させていただきます)

## 長野県議会11月定例会報告

一般会計補正予算 158 億 5 千万円余、特別会計 2 億 2 千万円余の合計 160 億 7891 万 3 千円の補正予算案を可決しました。この中には緊急雇用創出基金 4 億 4 千万円の積み増し、補助公共事業費 115 億円余などを含む経済対策関連 156 億円 3 千万円余が盛り込まれています。

新知事として新たな県政の実現に向けた取り組みとして、現在 3 年目を迎える 5 年間の総合計画を新たなものに策定しなおすための予算(148 万円余)、信州経済戦略会議の設置費用(101 万円余)、そして信州型事業仕分けの先行実施費用 278 万円 6 千円が提示されました。中長期計画の改訂については議会の議決を要する案件であることが確認され、9 月議会から議論のあった信州型事業仕分けの先行実施予算については、委託先について信州型としての独自性を出せない懸念などから一部費用を削減した修正案が二案出されましたが、結果として原案可決となりました。



### 報告関係

- ＜商工労働部ものづくり振興課から産学官連携による新技術、新製品開発状況の報告＞  
諏訪市、諏訪地域の関連企業が取り組む事業も紹介されています。
  - (株)エヌ・ティー・エス:カビや藻の繁殖を抑制する塗料開発
  - 野村ユニソン(株):レーザーや超音波を用いた薄型太陽電池セル配線装置開発
  - アスリートFA(株):基盤とハンダボールの超音波接合装置開発
- ＜平成22年度上半期の観光地利用者統計結果が速報＞
- 諏訪市の諏訪大社は前年の234%、消費額2億7900万円(前年の35.2%)増。
  - 上諏訪温泉・諏訪湖は延利用者数で前年より1%ほど伸びたものの、消費額は2100万円(0.5%)の減少、霧が峰高原も客数1万3千人減、3600万円減。御柱祭の周辺への影響は意外と限定されてしまったかもしれません。引き続き年末終了したDCキャンペーンやその後の観光振興策の結果を注目しています。
- ＜中南信における併設型中高一貫校＞  
諏訪清陵高校、実施年度を平成26年4月開校とする(案)が示され、12月中に3回の地域懇談会が開催されました。順次手続きを経て、地域に理解される学校としてスタートできることを願っています。

### 諏訪市補正関係

- 社会資本整備総合交付金:諏訪茅野線(四賀)舗装1千万円
- 森林整備地域活動支援交付金 2箇所(79ha)158万円  
(下金子生産森林組合、大熊林野利用農業協同組合)



### 新年度当初予算要望

新しい阿部知事が構成する初めての当初予算となる、平成23年度予算編成にあたり、創志会として要望書を取りまとめ、知事に提言致しました。



### 議員連盟活動

- 【がん征圧議員連盟】一昨年議員連盟として中間提言をした「がん」の予防、検診、医療にわたる16項目につき、改めて新知事に理解いただくべく、現在の進捗状況を含め提言しました。
- 【青少年育成・社会環境整備議員連盟】新知事がこどもの権利条約にかかわる県条例の制定を公約しており、議員連盟として早速、早稲田大学教授・子どもの権利条約総合研究所代表の 喜多明人先生をお呼びして講演会「長野県発”子ども支援のまちづくり条例を創る(子どもの権利条約が県条例に与える意味を考える)」を開催しました。子どもとどう向き合うか、子どもが子どものまま、子どもとして生き活きと能動的に動ける環境をつくる意味を勉強しました。

### 意見書を国へ提出しました

- 地方議会議員の位置づけの明確化及び都道府県議会議員の選挙区制度見直しなどの早期実現を求める意見書
- こども手当て財源の地方負担に反対する意見書
- 切れ目のない中小企業支援策を求める意見書
- HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウィルス1型)の総合対策を求める意見書
- 脳脊髄液減少症の診断、治療の確立等を求める意見書
- 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定に関する意見書
- 地域公共交通の維持・活性化のための予算確保と交通基本法の制定を求める意見書
- B型肝炎問題の早期前面解決を求める意見書



### その他の情報

- 全国の地方議員年金制度の見直しについて、現在は廃止の方向にて議論がすすんでいます。

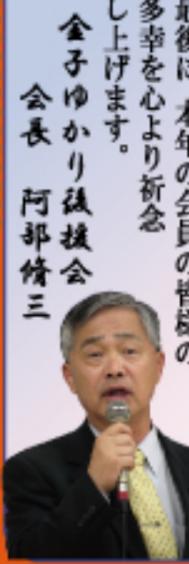
## 金子ゆかり後援会

### 後援会長あいさつ

昨年、御柱祭はじめご多忙の中、皆様には厚いご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。お蔭様にて、健康で一年間、地域課題の解決や、県議会の職務を遂行することができ、また後援会の各種行事も盛会に開催していただくことができました。本年はいよいよ四年の任期を終え、四月に改選期を迎えます。今まで皆様と頂いてまいりました厚い教えやご指導を胸に、再度県議会議員として諏訪市を中心に、諏訪地域、長野県の発展の為に役立てますよう再挑戦の決意を致し、十二月十四日の後援会本部役員・総支部長会議にてご承認を頂いたところであります。課題は多々あります。どうぞ引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。さて、本年も昨年に引き続き予算を許さない状況の中のスタートとなりました。一月二十日には今年も臨時議会が招集され第四次補正予算の審議が予定されており、ここからは昨年の十一月議会のご報告を中心に県政報告をお届けいたします。ご高覧頂き、皆様のご意見、ご要望などお寄せ頂ければ幸いに存じます。

今年はいよいよ四年前より座右の銘に「おおきな耳」を加えました。うさぎのよう大きな大きな耳で、皆様の様々な声をしっかりと聞き取り、県政に反映してまいりたいと思います。

本年が皆様にとりまして大いに飛躍の年となりますように、併せてご家族ご一緒のご多幸をお祈り申し上げます。



金子ゆかり後援会  
会長 阿部脩三

新年あけまして  
おめでとうございませう

## 「金子ゆかり後援会新年総会」 「第15回県政報告会」開催のお知らせ

2月13日(日)午後2時より3時半頃まで  
場所: RAKO華乃井ホテル3階  
会費: 500円

お誘い合わせて、大勢のご参加をお願いいたします。



▲11/9.後援会女性部バスハイク(静岡県島田/バラ高、みかん狩り)



▲10/23.第14回県政報告会の様子



▲10/23.第14回県政報告会の様子